



# Voice

ボ イ ス

未来のための、ヒントがここに。

第30号

2023.2

今回の定例会(月)



県議会  
インターネット中継  
配信中!

CONTENTS	p.1 ▶ 11月定例会の概要	p.2 ▶ 一般質問の内容	p.8 ▶ 常任委員会
	p.11 ▶ 議会トピックス	p.12 ▶ 可決された議案 他	

[表紙] テーマ 羽ばたく鳥 撮影/青森県立弘前実業高校1年 工藤未蘭さん



## 11月定例会の概要

## 令和4年度一般会計補正予算案などを可決

令和4年11月第312回定例会は、11月24日に開会され、12月9日までの16日間にわたり開催されました。

### ◎開会日(11月24日)

初日の本会議では、「令和4年度青森県一般会計補正予算(第3号)案」をはじめ、26件の議案及び3件の報告が上程され、三村知事から、「今回の補正予算は、原油価格物価高騰等対策として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている事業者等への支援に要する経費、本年8月3日からの大雨に係る災害対策として、公共インフラの復旧や被災市町村が実施する復興のための地域活性化事業を支援するのに要する経費等について、それぞれ所要の予算措置を講ずることとしたほか、職員の給与改定に要する経費について、既計上の給与関係費の精査による増減額との調整を行ったうえで所要額を計上することとした」などの提案理由説明がありました。

その後、9月定例会で継続審査とされ、決算特別委員会に付託された、令和3年度決算に関する6件の議案の審査状況が夏堀委員長から本会議に報告されたのち採決

### ◎一般質問(11月30日～12月2日)

11月30日から3日間にわたり行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰等の影響を受けている県内中小企業者に対する支援策、8月3日からの大雨被害の復旧対策、人口減少克服に向けた取組などについて、各議員から質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。

### ◎質疑(12月6日)、常任委員会(12月7日)、質疑(12月8日)

12月6日には、「令和4年度青森県一般会計補正予算(第4号)案」が追加提出され、「国において、『物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策』を施行するための令和4年度補正予算が去る12月2日に成立したことに伴い公共事業関係費及び国庫補助事業費について、国からの追加割り当てが見込まれることから、これにかかる所要の予算措置を講ずることとした」などの提案理由説明がありました。その後、追加提出議案を除く議案及び報告に関する質疑が行

われ、令和4年度青森県一般会計補正予算(第3号)案に計上された費目の事業内容等について、質疑・答弁がありました。

追加提出議案を除く議案のうち、人事案件を除く議案25件及び請願1件は所管の常任委員会に付託され、12月7日に開催された各常任委員会において、それぞれ審査が行われました。

12月8日は、追加提出議案についての質疑が行われました。

### 閉会日(12月9日)

最終日の12月9日には、各常任委員会の審査内容の報告があり、討論が行われたのち採決が行われ、知事提出議案27件、請願1件及び議員提出議案2件が可決・同意・採択されました。



開会日の提案理由説明の様子

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします



本文中のこのマークは用語解説です。



たなか じゅんぞう  
田中 順造 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：十和田市

**Q** 新型コロナウイルス感染症対策

**A** 県内のオミクロン株対応ワクチンの接種状況と、接種促進に向けた県の取組を伺う。

**Q** 経済支援

**A** 円安・物価高騰等への対応

物価高騰等の影響を受けている県内中小企業者に対して、県はどのように支援していくのか伺う。

**A** 三村知事

県では、原油・原材料価格の高騰に対応するための設備更新などに取り組み県内中小企業者への補助事業を実施するとともに、物価高騰等の影響を受けている県内中小企業者への金融面での支援などを行っている。

さらに、電力等の光熱費がかさむ冬期間においても不安を抱えることなく安定的に事業を継続できるように、今般、県独自の支援金制度を創設することとした。今般も、地域経済の早期回復に向けて、しっかりと取り組んでいく。

**A** 健康福祉部長  
本県のオミクロン株対応ワクチンの接種率は、11月29日公表時点で20.21パーセントと全国平均の17.88パーセントを上回り、接種が順調に進んでいる。  
県では、市町村のワクチン接種業務の支援及び希望者が速やかに接種できる環境づくりを目的として、県内3か所で広域接種会場の運営を行っており、今後とも県民に対し、ワクチンの効果や安全性について周知を行いながら速やかな接種の検討を呼びかけていく。

用語解説

オミクロン株対応ワクチン

従来株に由来する成分とオミクロン株に由来する成分の両方を含む「2価ワクチン」。従来のワクチンと比較して、オミクロン株に対する重症化・感染・発症予防効果がそれぞれ強いことが期待されている。



たなか みつる  
田中 満 議員

会 派：立憲民主党  
選挙区：八戸市

**Q** 福祉

**A** 介護サービス事業所等における人材確保

県内の介護サービス事業所等における人材確保に向けての県の取組について伺う。

**A** 健康福祉部長

青森県福祉・介護人材確保定着ブランドデザインに掲げる「参入促進」、「労働環境・処遇の改善による定着促進」、「資質の向上」の推進戦略に基づき取組を進めている。

具体的には、介護未経験者等への入門的研修や介護助手の体験実習、介護職員の負担軽減等が期待できる介護ロボット等の導入のほか、職域階層に応じた研修等を実施している。

**Q** 学校

**A** 公立中学校における運動部活動の地域移行

運動部活動の地域移行に向け、県教育委員会でどのように取り組んでいるのか伺う。

**A** 教育長

県教育委員会では、県立三本木高校附属中学校において、令和3年度から「休日の部活動の地域移行」に向けて実践研究を行っているほか、市町村教育委員会等を対象に部活動担当者協議会を開催し、各市町村における取組の現状と課題の協議や情報提供等を行っている。各市町村において休日の部活動の地域移行が計画的に推進されるよう、今般も課題の解決に向けて必要な支援を行っていく。

用語解説

休日の部活動の地域移行

スポーツ庁の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」で示された、公立中学校の休日の学校部活動を段階的に地域部活動に移行するという取組。令和5～7年度までを改革集中期間として進めることとされている。



はたけやま けいいち  
嶋山 敬一 議員

会 派：公明・健政会  
選挙区：八戸市

### Q ドクターヘリの運航

医療  **ドクターヘリの安定運航に向けた県の取組について伺う。**

### A 三村知事

ドクターヘリの安定運航を図るため、運航に関して発生したインシデントやアクシデントの情報を関係機関で共有し、安全対策に努めているほか、医療従事者養成のため、県立中央病院、八戸市立市民病院及び弘前大学医学部附属病院の医師、看護師が研修を受講するなど、人材育成にも取り組んでおり、引き続き、ドクターヘリ運航事業について万全を期して進めていく。



青森県ドクターヘリ

### Q 経済支援

**あおもり若者定着奨学金返還支援制度**

今年度に県が創設した「あおもり若者定着奨学金返還支援制度」は、本県への若者の定着、還流の促進につながるものと期待している。2023年度採用分のあおもり若者定着サポート企業の登録状況について伺う。

### A 企画政策部長

令和4年11月28日時点で74者であり、登録の多い業種としては、「建設業」が26者、「医療、福祉」が13者、「卸売業・小売業」が10者、「製造業」及び「学術研究、専門・技術サービス業」がそれぞれ7者となっている。

### 用語解説

#### あおもり若者定着奨学金返還支援制度

若者が対象企業に就職し、6年間離職せず青森県内に住み、働き続けたとき、奨学金の返還を、企業と県とで支援する制度。公式サイト「あおもり奨学金サポートサイト」で、詳細の確認や利用登録申請(無料)ができる。



あおもり奨学金サポートサイト



おおさき みつあき  
大崎 光明 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：八戸市

### Q 「攻めの農林水産業」の展開

農業  「攻めの農林水産業」の取組を継続してきた結果、農業分野においてどのような成果が得られたと知事は考えているのか伺う。

### A 三村知事

消費者起点に立った販売重視の施策と、それを支える水、土、人の3つの基盤づくりに取り組んできた結果、販売農家1戸当たりの農業所得が約2倍となったほか、新規就農者数が令和2年度に目標の年間300人を超えたことは、稼げる農業になった証と受け止めている。  
また、消費者や流通関係者との信頼関係を構築できたことに加え、徐々に施策が浸透し、県民の皆様からも応援いただいていることが何よりの成果であると考えている。

### Q 交通安全

**第二みちのく有料道路の最高速度規制**

上北自動車道と接続する第二みちのく有料道路の最高速度規制を引き上げるべきと考えるが、県警察の見解について伺う。

### A 警察本部長

第二みちのく有料道路については、令和5年度までに「**可変式速度規制道路標識**」を整備する計画であり、これが完成し次第、最高速度規制を60キロメートル毎時から70キロメートル毎時に引き上げることとしている。

### 用語解説

#### 可変式速度規制道路標識

高速道路等を走行する車両の安全を確保するため、最高速度を可変表示する規制標識のこと。



**A 三村知事**  
 下北半島縦貫道路は、全体延長約70kmのうち、これまでに26.6kmを供用しており、令和5年3月25日には、むつ南バイパスのむつインターチェンジからむつ尻屋崎インターチェンジまでの2.1kmの供用を開始する。当該区間の供用により、むつ市街地の交通混雑緩和に寄与するとともに、避難路や緊急輸送路としても効果を発揮するものと考えている。



国道279号 風間浦村下風呂地区入江橋 施工状況

**用語解説**

**国の権限代行工事**

国土交通大臣は、工事が高度の技術を要する場合や、高度の機械力を使用して実施することが適当であると認める場合等において、都道府県に代わって自ら指定区間外の国道の災害復旧に関する工事を行うことができる。

**県土整備**

**Q**

防災・減災、国土強靱化に向けた下北地域の道路整備について伺う。  
 下北半島縦貫道路の整備状況とむつ南バイパスの供用開始の明確な時期について伺う。



えちぜん ようえつ 越前 陽悦 議員

会派：自由民主党  
 選挙区：むつ市

**県土整備**

**Q**

防災・減災、国土強靱化に向けた下北地域の道路整備について伺う。  
 令和3年8月の大雨で被災した国道279号並びに国が権限代行で進める小赤川橋の復旧工事の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

**A 県土整備部長**

県が復旧工事を進めてきた11か所のうち、現在までに9か所が完了し、残る2か所についても、年内に片側交互通行の規制を解除し、来年3月までに全ての工事を完了させる予定。  
 小赤川橋については、橋台及び護岸工事が実施されており、今年度末までの新橋完成を目指すと考えている。

**農業**

**Q**

8月の大雨によるりんごの被害対策  
 本県におけるりんご生産者の農業保険の加入状況と加入推進に向けた県の取組について伺う。



あんどう はるみ 安藤 晴美 議員

会派：日本共産党  
 選挙区：弘前市

**A 農林水産部長**

令和4年10月末における、りんごを対象とした農業保険の県全体の加入率は39パーセントとなっている。  
 県では、県農業共済組合と市町村や農協等関係機関との連携強化を誘導するとともに、今般被災した地域を対象に、支援事業の受付の際に加入意向を個別に調査する取組を進めており、そうした様々な機会を捉え、引き続き、加入促進を図っていく。

**用語解説**

**農業保険**

国が運営する農業経営者向けの公的保険で、収穫減少等を補填する農業共済と、収入減少を補填する農業経営収入保険の2つがあり、国庫が原資の約2分の1を支援することで、加入者の掛金等負担が軽減されている。

**用語解説**

**救急医療**

- 一次(初期)救急:救急搬送や入院を必要としない患者に対する救急医療
- 二次救急:入院を必要とする患者に対する救急医療
- 三次救急:専門的な医療のみならず、重症外傷や複数診療科にまたがる重篤な患者に対する救急医療

**医療**

**Q**

津軽地域保健医療圏における二次救急医療体制  
 津軽地域の救急医療について、地域医療構想で示した方向性に対し、県は現在の状況をどう捉えているのか伺う。

**A 健康福祉部長**

令和4年4月に弘前市立病院と国立病院機構弘前病院が再編・統合し、開院した弘前総合医療センターは、高度医療や専門医療など地域の中核的な役割を担うとともに、弘前大学医学部附属病院及び健生病院と連携して二次救急医療に対応しており、青森県地域医療構想で目指した津軽地域の救急医療提供体制の更なる充実が図られたと考えている。



なりた ようこう  
**成田 陽光** 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：北津軽郡

**Q** 県土整備

**りんごの流通を支える  
道路整備**

津軽横断道路の整備状況と今後の取組について伺う。

**A** 県土整備部長

津軽横断道路は、青森空港から青森市浪岡、板柳町等を経由して岩木山麓に至る、沿線地域の生活や交流、経済活動を支え、観光ルートとしての重要な役割も担っている道路であり、総延長約16.5kmのうち、これまでに8.6kmを供用している。

残る7.9kmのうち、常海橋銀線福館・女鹿沢工区約5.1kmについては、道路改良工事、用地取得、埋蔵文化財調査、環境調査を進めており、五所川原岩木線高増工区約2.8kmについては、用地取得が概ね完了しており、道路改良工事を重点的に進めている。

**Q** 県土整備

**岩木川水系における  
河川改修事業**

十川における河川改修事業の進捗状況について伺う。

**A** 県土整備部長

十川では、概ね50年に1回程度の確率で発生する洪水に対応するための河川改修を実施しており、これまでに岩木川合流点から広田橋までの区間で築堤が完了している。

今年度は、当該区間での旧堤防の撤去を完了させるとともに、広田橋から上流側の区間では梅田橋の架替えや右岸側の築堤を進め、中上流部では5か年加速化対策の予算を活用した河道内の土砂掘削や雑木伐採を集中的に実施している。



十川の河川改修状況



たにかわ まさと  
**谷川 政人** 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：弘前市

**Q** 農業

**8月3日からの大雨による  
農作物被害対策**

冠水被害を受けたりりんご園地における被害対策の実施状況について伺う。

**A** 青山副知事

岩木川水系河川敷のりんご園地の被害を受け、県は県議会とともに、国に支援対策を要請したところ、果樹産地再生支援対策が創設され、営農再開に向けた生産者の取組に対し、令和5年3月下旬までに補助金が支払われる見込みとなった。

県独自の対策では、市町村が行う園地の流入ゴミ等の処理経費を支援し、処理場への搬入は11月末までに終了、被災した生産者には、改植等の支援制度の情報を提供する。

**Q** 産業

**下水汚泥の肥料利用  
に向けた取組**

岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

**A** 三村知事

今年7月に事業の実施方針や要求水準書案を公表し、11月下旬に入札公告を開始した。今後は、来年度前半に事業者を決定し、令和7年度までに肥料化施設を完成させ、令和8年度からの20年間、施設の維持管理・運営、肥料売買を行う予定である。

本事業は、下水汚泥という有用な資源を肥料化し、地域内で循環させる地産地消を目指しており、今後もしっかり取り組んでいく。

用語解説

**下水汚泥の肥料利用**

下水の処理過程で発生する下水汚泥には、農業に有用な窒素やリン等の栄養分が豊富に含まれ、これを発酵等することにより肥料にすることができ、安全で安価な国産肥料として注目されている。



くどう かねみつ  
工藤 兼光 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：西津軽郡

Q 8月3日からの  
大雨災害への対応

県土整備  
鱒ヶ沢町の町道山子線・開晴橋と深浦町の町道長慶平1号線の災害復旧に関する代行事について、県の対応と今後の予定を伺う。

A 県土整備部長

当該町道は、橋脚の沈下や長区間にわたって道路が消失するなど、技術的に復旧が困難な被害が発生した。

このような状況を踏まえ、両町長から知事に対して、当該町道の災害復旧への全面的な支援の要望があったことから、道路法に基づき県が代行して工事を行い、1日も早い復旧を目指して取り組むこととした。

復興支援 家

Q 8月3日からの  
大雨災害への対応

被災地域の早期復興・活性化に向け、市町村が地域の実情を踏まえた対策を積極的に講じることができよう、県では、どのように市町村を支援していくのか伺う。

A 企画政策部長

被災市町村が実施する被災事業者の事業継続や地域コミュニティ再生などの独自支援策について、「元気な地域づくり支援事業費補助を増額して支援する。

補助率は原則3分の2、対象事業限度額は、被災者生活再建支援法の適用を受けた3町が1町につき1億5千万円、その他被災市町村が、1事業につき1千5百万円とする。



せき りょう  
関 良 議員

会 派：青和会  
選挙区：青森市

Q 安心して子育てできる  
環境づくり

子育て支援  
人口減少が進む中で、保育サービスの提供体制を確保するため、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

A 健康福祉部長

県は、人口減少や少子化が進行する中であっても、誰もが希望する**保育所**等へ入所することができ、質の高いサービスが提供されることが重要と考える。

このため、長期的な視点に立つて、保育士等の処遇改善と保育人材の確保・資質向上を進めることで、人口減少地域においても必要な保育サービスの提供体制が確保されるよう、市町村や保育事業者を支援していく。

福祉 人

Q 困難を有する子ども・  
若者や家族への支援

困難を有する子ども・若者への県の今後の取組について伺う。

A 環境生活部長

県では、子ども・若者の成長と自立を支援していく社会づくりを目指し、「青森県子ども・若者育成支援推進計画」を策定し、各種施策を展開している。現在、来年度からの5年間を計画期間とする次期計画の策定作業を進めている。引き続き、相談支援機関等と連携し、困難を有する子ども・若者や家族への切れ目のない支援体制の強化に努めていく。

用語解説

保育所

保護者が働いていたり、病気等のため家庭において十分保育することができない児童を保護者にかわって保育し、通所する児童の心身の健全な発達を図る施設。





やまもと ともや  
**山本 知也** 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：むつ市

### Q 下北地域の道路整備

大間町からむつ市大畑町までの国道279号のバイパス整備に向けた取組状況と今後の予定について伺う。

### 県土整備

### A 三村知事

大間町から風間浦村易国間までの区間は、既存道路と県が整備している農道及び県が代行事業で整備している村道をつなぐことにより、今年度内に避難経路の確保を完了させる。

風間浦村易国間からむつ市大畑町までのうち、易国間・木野部峠間約14kmについては、バイパス名を風間浦バイパスに決定し、来年度、バイパスの概略ルート帯を決定・公表する。

### Q

### 県内航路の維持

大間・函館航路の維持について、県の認識を伺う。

### 交通

### A 企画政策部長

大間・函館航路は、生活航路や道南地域との広域観光、下北地域における避難航路として重要な航路であることから、県は「大函丸」の建造費の一部を大間町に支援したほか、就航に必要な大間港の改修や船体維持経費の一部を町に支援してきたところ。

町と津軽海峡フェリー株式会社は、指定管理制度が終了する令和6年度以降の運航継続について協議を行っている。

県としては、本航路の維持に向け、利用者の増加が図られるよう、関係者と連携して取り組んでいく。



わだ かんじ  
**和田 寛司** 議員

会 派：自由民主党  
選挙区：三戸郡

### Q

### 農作物の盗難防止対策

農作物の盗難被害を防止するための県警察の取組について伺う。

### 防犯

### A 警察本部長

農作物の生産が盛んな地域を管轄する警察署において、盗難発生が懸念される深夜時間帯を中心に、防犯指導隊や農協などの関係機関等と合同でパトロールを実施している。

生産者に対しては、収穫した農作物の野積みを抑えることなどを注意喚起するチラシを配布するとともに、畑周辺における防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器の設置を指導するなど、盗難防止対策に取り組んでいる。

### Q

### 県産品の県外への販売拡大

販売先との信頼関係を構築するための今年度の県の取組について伺う。

### 産業

### A 三村知事

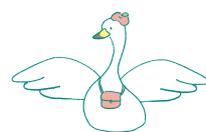
販売先の経営トップとの面談や売場で消費者にPRするトップセールスに地道に取り組んできた結果、全国の量販店等で「青森県フェア」が定着したほか、コロナ禍においても県産冷凍食品の取引や米の販売拡大などにつながっている。

今年度はこれまでに量販店や米卸売業者など25か所を訪問しており、今後も「青森県フェア」や青果市場への訪問に加え、メディアキャラバンを展開するなどとして、県産品の販売拡大につなげていく。



県外量販店でのトップセールスの様子

# 常任委員会調査



## 総務企画危機管理委員会

総務企画危機管理委員会は、10月31日から11月1日にかけて中南・西北地区において調査を実施しました。

黒石市のこみせ通りでは、こみせ通り周辺地域を活用した地域振興について説明を受け、質疑応答を行うとともに、こみせ通り周辺地域を視察しました。

ひらかわドリームアリーナでは、地域防災拠点の機能を併せ持つ体育施設の概要について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設の状態を視察しました。

金木観光物産館では、金木観光物産館リニューアル事業の概要について説明を受け、質疑応答を行うとともに、

施設の状態を視察しました。

津軽鉄道株式会社では、津軽鉄道の活性化と利用促進について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設の状態を視察しました。



ひらかわドリームアリーナでの視察

## 環境厚生委員会

環境厚生委員会は、12月20日から22日にかけて富山県・石川県において調査を実施しました。

富山県立中央病院(富山市)では、最先端医療の取組とドクターヘリの運航状況等について説明を受けるとともに、施設を視察しました。

富山県カーボンニュートラル推進課(富山市)では、とやまゼロカーボン宣言の実現に向けた取組等について説明を受けました。

石川県リハビリテーションセンター(金沢市)では、社会復帰を目指す総合リハビリの取組等について説明を受けるとともに、施設を視察しました。

兼六園周辺文化の森(石川県立美術館)(金沢市)では、エリア活性化推進の取組について説明を受けるとともに、施設を視察しました。



富山県立中央病院(富山市)での視察

## 農林水産委員会

農林水産委員会は、10月25日から27日にかけて熊本県、福岡県、佐賀県において調査を実施しました。

熊本ワイナリーでは、醸造施設内を視察した後、地元産ブドウを使用した菊鹿ワイナリーの概要と取組について説明を受け、質疑応答を行いました。

株式会社福岡県南部給食センターでは、地元産野菜を使用した給食の製造・販売事業について説明を受け、質疑応答を行った後、給食製造施設を視察しました。

江川農園では、地中熱利用空調システム整備の概要について説明を受け、質疑応答を行った後、システム導入ビニールハウス施設を視察しました。

唐津市水産業活性化支援センターでは、マサバの完全養殖技術の開発等について説明を受け、質疑応答を行った後、養殖施設内を視察しました。



江川農園(唐津市)での視察

## 商工労働観光エネルギー委員会

商工労働観光エネルギー委員会が、10月31日から11月2日にかけて大阪府、兵庫県において調査を実施しました。

青森県大阪情報センター、青森・岩手ええもんシヨップでは、県内事業者の製品販売及び観光情報発信による誘客の促進等の取組について説明がありました。説明・質疑応答後は、青森・岩手ええもんシヨップの視察を行いました。

兵庫県淡路市 淡路ハイウェイオアシスでは、商業・観光・公園の機能を兼ね備えた複合施設における取組について説明がありました。説明・質疑応答後、施設の視察を行いました。

兵庫県淡路市(株)パソナグループでは、人材誘致による新産業の創造及び地域活性化と雇用創造への取組についてスライド、DVDにより説明がありました。説明・質疑応答後、のじまスコラ、青海波古酒、ニジゲンノモリを視察しました。



(株)パソナグループでの視察

## 建設委員会

建設委員会は、10月31日から11月2日にかけて熊本県、佐賀県、福岡県において調査を実施しました。

阿蘇大橋地区では、国土交通省九州地方整備局阿蘇砂防事務所から熊本地震からの復旧・復興の取組(阿蘇大橋地区斜面对策事業)について説明を受け、現地調査及び質疑応答が行われました。

佐賀市下水浄化センターでは、下水道施設での汚泥堆肥化事業の取組について説明を受け、汚泥堆肥化施設の視察及び質疑応答が行われました。

山王雨水調整池では、福岡市道路下水道局下水道施設部中部水処理センターから博多駅地区緊急浸水対策事業について説明を受け、現地調査及び質疑応答が行われました。



阿蘇大橋地区での視察

## 文教公安委員会

文教公安委員会は、11月7日から9日にかけて岐阜県、愛知県、静岡県において調査を実施しました。

岐阜県警察本部では、運転免許自主返納の取扱いをはじめ、高齢運転者対策についての説明を受け、意見交換を行いました。

岐阜県白川村では、世界文化遺産「白川郷」の保全と保護及び管理についての説明を受け、意見交換を行うとともに、合掌造り集落を視察しました。

愛知県警察本部では、人口動態システムを活用した交通事故抑止対策及び中小事業者へのサイバーセキュリティ対策についての説明を受け、意見交換を行いました。

静岡市清水区では、世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」の保全と保護及び管理についての説明を受け、意見交換を行うとともに、松林の状況を視察しました。



岐阜県警察本部での視察

# 常任委員会要望



## 総務企画危機管理委員会

総務企画危機管理委員会は、知事部局と合同で、1月13日に国土交通省及び県選出国会議員に対し、「地方の航空ネットワークの維持・充実に向けた取組」及び「地方空港における国際線の再開に向けた支援」について要望活動を実施しました。

国土交通省では、大野達航空局航空ネットワーク部長に対し要望内容を説明した後、意見交換を行いました。

大野部長からは、「これからインバウンドが活性化していく中、地方への誘客や地方空港の国際化は大事であると考えており、国土交通省としても頑張っていく。三沢・羽田線は、春に各空港からのプレゼンの機会を設けるので、取組事例を紹介していただきたいと考えている。国際線については、大韓航空のチャーター便が運航されることで、非常にいい動きと考えており、検疫がポイントとなるという思いは一緒である。」との発言がありました。

また、滝沢求参議院議員ほか県選出国会議員に対し要望書を手渡し、支援を要請しました。



国土交通省での要望活動の様子

## 商工労働観光エネルギー委員会

商工労働観光エネルギー委員会は、12月20日、県執行部と合同で、物価高騰等の影響を受ける中小企業者等への支援の拡充・強化について、経済産業省・中小企業庁に対して本県選出の木村次郎衆議院議員及び滝沢求参議院議員が同行し、要望活動を行いました。その後、県選出国会議員に対して、要望活動を実施しました。

中小企業庁においては、飯田健太次長に対し、要望内容を説明した後、意見交換を行いました。



中小企業庁での要望活動の様子

## 建設委員会

建設委員会は、12月13日、県執行部と合同で、国土交通省、財務省、県選出国会議員等に対し、「防災・減災、国土強靱化等に必要予算総額の確保」等について、要望活動を実施しました。

国土交通省では、古川康国土交通大臣政務官、岡村次郎水管理・国土保全局長及び丹羽克彦道路局長に要望内容を説明し、意見交換を行いました。

古川政務官からは、近年、大雨災害の頻度が増しているが、事前防災対策の効果も出ており、今般成立した国の補正予算のみならず、当初予算も確保し、今後も地域で安心して暮らしていけるよう取り組んでいきたい等の発言がありました。

また、津島淳衆議院議員(自由民主党政務調査会国土交通部会長)、江渡聡徳衆議院議員、木村次郎衆議院議員、滝沢求参議院議員等に対しても同様の要望活動を実施しました。



国土交通省での要望活動の様子

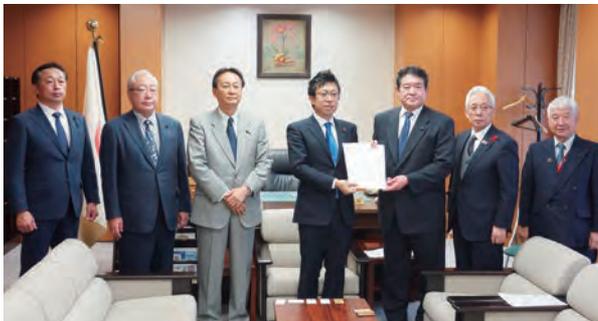
## 文教公安委員会

文教公安委員会は、県教育委員会と合同で、12月20日に文部科学省及び県選出国会議員に対し、「新たな教職員定数改善計画の策定」及び「学校施設整備に必要な財源の確保」について要望活動を実施しました。

文部科学省では井出庸生文部科学副大臣に対し要望内容を説明した後、意見交換を行いました。

井出文部科学副大臣からは、少人数学級については、中学校・高等学校についてもきめ細かな指導環境の整備が必要と認識している。実証研究を踏まえて取り組むことや、必要な施設整備予算の確保に引き続き取り組んでいきたいとの発言がありました。

また、滝沢求参議院議員ほか県選出国会議員に対し要望書を手渡し、支援を要請しました。



文部科学省での要望活動の様子

## Topics

### 議会 トピックス



表彰状伝達時の様子

## 青森県議会議員12名が 自治功労者として表彰されました。

青森県議会議員12名が、議員在職10年以上等の自治功労者として、全国都道府県議会議長会から表彰されました。第312回定例会では、開会日の11月24日の本会議冒頭に、三橋議長から表彰状が伝達され、知事から記念品の贈呈がありました。



表彰された議員

**在職25年以上** 田名部定男 議員（立憲民主党、八戸市選出）

**在職20年以上** 工藤兼光 議員（自由民主党、西津軽郡選出）

岡元行人 議員（自由民主党、弘前市選出）

三橋一三 議員（自由民主党、つがる市選出）

山田知 議員（自由民主党、八戸市選出）

**在職15年以上** 山谷清文 議員（自由民主党、青森市選出）

櫛引ユキ子 議員（自由民主党、五所川原市選出）

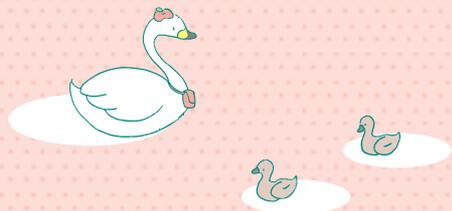
夏堀浩一 議員（自由民主党、三戸郡選出）

工藤慎康 議員（自由民主党、上北郡選出）

高橋修一 議員（自由民主党、青森市選出）

川村悟 議員（青和会、弘前市選出）

安藤晴美 議員（日本共産党、弘前市選出）



## 第312回定例会で可決された知事提出議案(33件)

令和3年度決算関係(6件) ●決算の認定を求めるの件など6件

令和4年度補正予算関係(11件) ●一般会計2件、特別会計9件

条例関係(5件) ●特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

●職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案

●青森県議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例案 など5件

人事関係(1件) ●青森県教育委員会委員の任命の件

その他(10件) ●当せん金付証券の発売金額の決定の件

●工事の請負契約の件

●公の施設の指定管理者の指定の件2件

●公共施設等の整備等に関する事業契約の一部変更の件 など10件

## 第312回定例会で可決された議員提出議案及び請願の内容

### 条例 青森県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

収支報告書等の閲覧開始前に開示請求がなされた場合の不開示の取扱いについて明確にし、及び議員が収支報告書等を訂正しようとする時の手続を定める。

### 意見書 旧統一教会(世界平和統一家庭連合)による高額献金要求等の被害防止及び被害者救済措置の迅速な実施を求める意見書

旧統一教会(世界平和統一家庭連合)をめぐっては、これまで深刻な被害を発生させてきた活動が明るみになってきており、社会問題となっている。

よって、国会及び政府において、旧統一教会(世界平和統一家庭連合)の宗教法人が行う高額献金要求等による被害を防止し、その被害者を救済するため、実態把握を進めるとともに、法整備等を含む必要な措置について検討し、迅速に実施することを強く要望。

### 請願 青森県私学助成についての請願

私立高等学校教育のより充実強化を図るため、「私立高等学校経常費補助金の維持・拡充」、「私立高等学校等就学支援金及び青森県私立高等学校等就学支援費補助金等の維持・拡充」、「私立高等学校等施設設備の増改築事業費に対する助成の拡充」、「公私協調による安定的収容」について、青森県私立高等学校保護者会連合会から請願。

## 青森県をもっと知るため、議会を傍聴しよう!



### 傍聴者の声

#### 県政が身近に感じられました

身近な課題についても議論されており、我々の生活に直接結びついていると感じました。県政が少し身近に感じます。

60代 男性 青森市在住

傍聴にあたり、本誌「傍聴者の声」に掲載するため、アンケートをお願いすることがありますので、ご協力ください。

### 傍聴にあたってのお願い

#### 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください

※傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

※議場などへの入場前には検温をお願いします。

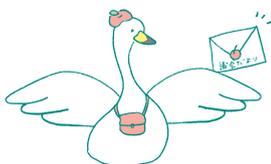
※議場などへの入退場の際は、アルコール消毒をお願いします。

※発熱や息切れ、風邪のような症状がある場合は傍聴を自粛するようお願いします。

傍聴については  
こちらから



## 県議会からの お知らせ



### ◎令和5年2月第313回定例会について

第313回定例会は、令和5年2月22日(水)に開会し、3月17日(金)に閉会する予定です。詳細な日程については青森県議会HPでお知らせします。

### ◎あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課  
 電話 017(734)9797(直通)

県議会だよりは  
こちらから

